

令和6年度 図画工作科 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心となる単元 ◆カリキュラムデザイン	授業改善に向けての具体的な手立て	◎ 成果 ● 課題
知識・技能	〈2年、4年〉 表したいことを思い付いて意欲的に作っているが、まだ、用具の扱いが身についておらず、表すための技能を自分の力にできていない児童がいる。	○「まどをあけると」 (2年) ◆「ビー玉めいろ」 (3年) ○「はしれはしれ」 「ビー玉コースター」 (4年)	用具の活用 ・ハサミ、のり、カッターといった基本的な用具の扱いに慣れ、思った通りに形にできたという経験を増やす。(2年) 身体性 ・自分の意志と見通しをもって材料に働きかけ、手や体全体を十分に使って、表し方を工夫できるようにする。(4年)	
思考力・判断力・表現力等	〈3年、5年〉 つくることに意欲的で、自分なりに表したいことを思い付き、表す技能をよく発揮している。技能の高さを生かした手ごたえのある題材に関心をもち、自分の活動を肯定的に捉えている。さらに発想を広げ、自分の見方や感じ方を深めていきたい。	○「これでかけるよ」 (3年) ○「光のオブジェ」 「カラーコレクション」 (5年) ◆「アート造形」 (6年)	造形遊びの充実 ・造形遊びを通じて、造形的な活動や新しい形や色を思い付き、発想や構想をしたり、自分の見方や感じ方を広げたりできるようにする。 没入 ・つくることに没頭し、自分だけの世界に入りこむような環境をつくる。材料や環境に主体的に関わり、自分らしい活動の充実を図れるようにする。(5年)	
学びに向かう力・人間性等	〈6年〉 思い付いたことを形にしようと、これまでの経験を元に材料や用具を活用しようとしている。しかし、周囲の存在を意識し、表すことだけに没頭できずに躊躇する、自信がもてないといった姿も見られ、作りだす喜びを味わっているとまでは言えない児童が多い。	○「色彩あそび」 「挑戦！ビー玉 コースター」 (6年)	モノとの関わり ・トロトロの液体の気持ちよさやその液体と合わさった絵の具の色の広がり的美しさから表したいものを見つけ、表すことに没頭し、表す行為や表れたもので心を満たす。児童自ら作りだそうとする態度を養う。 ヒトとの関わり ・グループ活動で人と関わり、自分との比較をしたり、認め合ったり、価値づけたりといった経験を重ねる。	